

ファーム伊達家からのおたより

ようこそ畠へ

2009年10月19日(月)、22日(木)VOL. 18

【今日は愛子が書きます。】

めっきり寒くなりました。8日(木)に畠に弱い霜がありました。強い霜にあたると、葉や茎はもちろん、実も枯れてしまうので、その前にと、10日(土)に露地のピーマン、ナス、ズッキーニ、カボチャの実を全て収穫しました。がんばってくれたなあ、という思いで畠をまわりました。子供達も手伝ってくれました。今、これらの野菜は何度か霜にあたって、今年の役目を終え、ぐったりとしています。



さて、10日に収穫した、ピーマン、ナス、ズッキーニ、カボチャは小さい実も収穫しました。枯れてしまう前に、小さくても採って食べられたらいいなあと思って収穫しました。

写真はズッキーニですが、左側は種採り用、真中は標準サイズ、右側の小さいのが今回収穫したものです。

種用のズッキーニは、なりはじめの7月下旬から8月上旬頃に、元気な株、形や色がきれいな実がなっている株に印をつけて、実を収穫しないておくと、こんなに大きく育ちました。これから、来年使う種を取り出します。

先週お知らせした、「秋の自然暮らし講座」の中で、種の話をする予定です。実際にズッキーニを切って種を見ていただこうと考えています。種の色、形は？何個入っているのか？興味ある方は、講座にご参加ください。

【寛記追記】

写真の真中のズッキーニは8月12日に収穫したものです。畠の小屋にずっと置いてありましたが、2か月たっても元気です。究極の自然栽培の野菜は腐らずに枯れて行くといいます。朝夕冷え込んできたので家の中に入れましたが、今後どうなるのか、観察していく考えています。

【お知らせ】

「畠と食卓がつながる農業」というテーマでお話をする機会をいただきました。お時間と興味のある方は、ぜひ、お越しください。

菜園生活プロジェクト 秋の自然暮らし講座（第五回）
畠のある暮らし②「畠と食卓がつながる農業講座」